

記者発表資料

新東名高速道路(浜松いなさJCT~豊田東JCT)のストック効果※ 開通まもなく1年、日本の生産性向上に大きく貢献

新東名高速道路(愛知県区間)の浜松いなさJCTから豊田東JCTまでの延長約55kmが、平成28年2月13日(土)に開通しました。開通後概ね1年のストック効果※についてお知らせします。
※ストック効果:整備された社会資本が機能し継続的に発揮される、生産性向上等の効果

- (1)東名・新東名の渋滞が約9割減少
- (2)東名・新東名のトラックドライバーの生産性が15%向上
⇒ 所要時間年間約200万時間短縮
- (3)自動車部品の輸送(愛知~関東)では定時性が向上
- (4)約5年間で、沿線に223件の工場が立地
- (5)東名通行止め発生時に、新東名が迂回路としての機能
- (6)静岡県から岐阜県下呂市への観光客数が増加

<参考> 開通後の交通状況

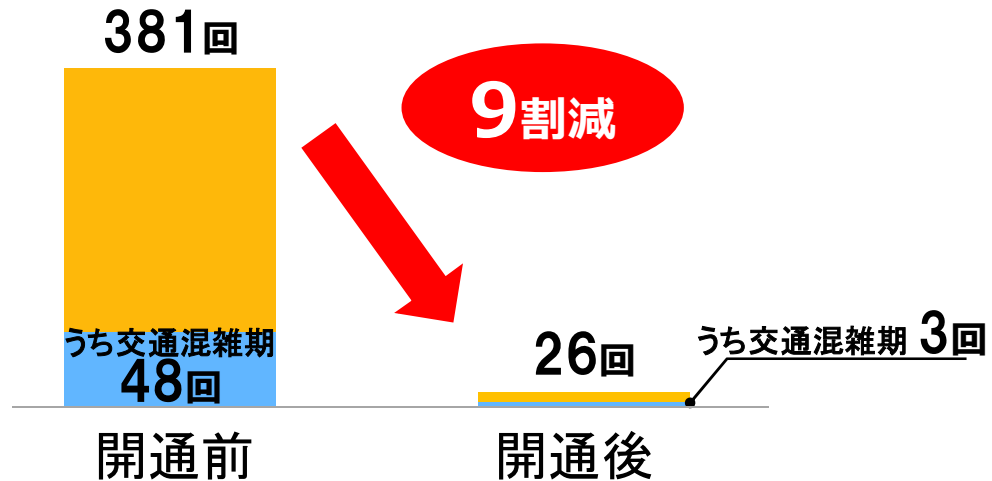
国土交通省中部地方整備局・中日本高速道路(株)名古屋支社・愛知県・沿線市(浜松市・岡崎市・豊川市・豊田市・新城市)では、「新東名(愛知県)開通効果検討会議」を設置し、新東名高速道路の開通効果について調査・検討を行っております。また、同検討会議のホームページ(<http://www.cbr.mlit.go.jp/road/shintomei>)において交通状況や開通効果などを適時報告していきます。



- 開通後11ヶ月間の渋滞※は、開通前の同期間に比べ、381回から26回と約9割減少。
- 昨年度は、並行する東名で渋滞が発生（H27年間渋滞ワーストランキング9位～30位）

※ 渋滞の定義：交通集中により速度40km/h以下の状態が、1km以上（GW・お盆・年末年始は10km以上）かつ15分継続した状況。

■ 東名・新東名の開通後の渋滞回数[11ヶ月間]



※開通前（平成27年2月15日（日）～平成28年1月4日（月））、開通後（平成28年2月14日（日）～平成29年1月4日（水））、交通集中が要因となる渋滞を対象
 ※東名集中工事期間（平成28年9月26日（月）～平成28年10月7日（金））間に発生した渋滞は除く
 ※交通混雑期：GW・お盆・年末年始
 開通前（GW：平成27年4月28日（火）～5月8日（金）、お盆：8月8日（土）～8月18日（火）、年末年始：平成27年12月28日（月）～平成28年1月4日（月））
 開通後（GW：平成28年4月28日（木）～5月8日（日）、お盆：8月6日（土）～8月16日（火）、年末年始：平成28年12月28日（水）～平成29年1月4日（水））

■ 平成27年の渋滞ワーストランキング

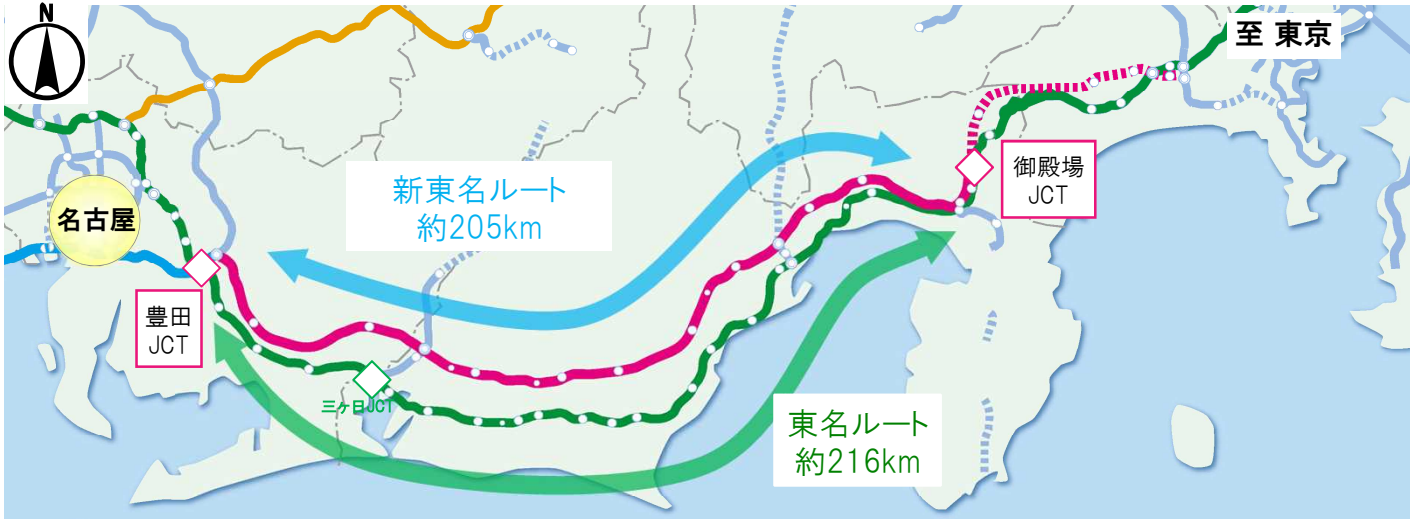


【東名 音羽蒲郡IC～岡崎IC(上り)の渋滞状況】



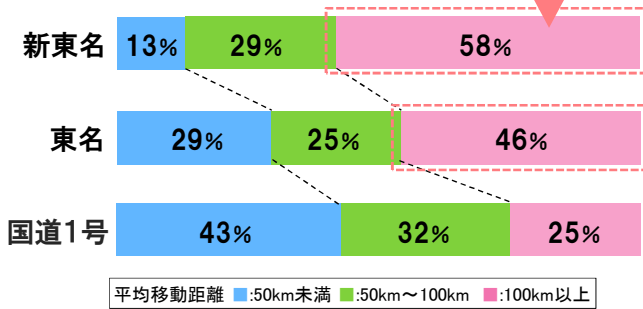
- 御殿場JCT～豊田JCT間の所要時間は、新東名利用により平均22分短縮。
- 長距離利用する大型車の走行時間が年間約15%改善

■ 御殿場JCT～豊田JCT間の新東名・東名ルート



■ 東名・新東名の利用状況(大型車)

新東名では約6割が100km以上を走行

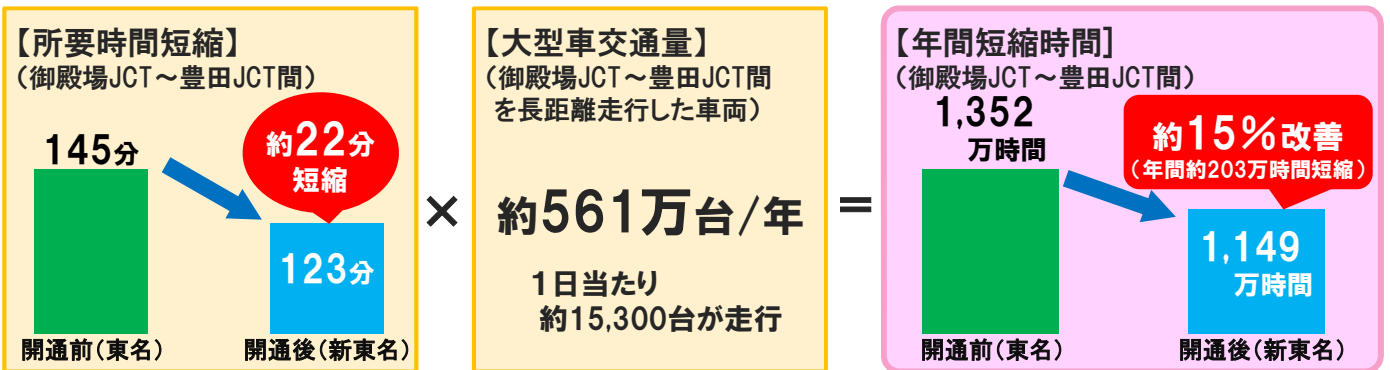


※出典 ETC2.0プローブ情報(平成28年3月1日～平成28年3月31日(平日))
 対象区間:国道1号(本宿町沢渡交差点～岡崎IC西交差点間)、
 東名(三ヶ日JCT～豊田JCT間)、新東名(浜松いなさJCT～豊田東JCT間)
 平均移動距離:対象区間を走行した車両の移動距離を平均
 (同一車両にて、前後の計測時刻差が60分以上ある場合は別の移動距離として算出)
 ※「大型車」は「ETC2.0における車種区分:貨物車」を集計している



渋滞に巻き込まれる大型車
新東名 開通前(三ヶ日JCT)

■ 御殿場JCT～豊田JCT間の所要時間

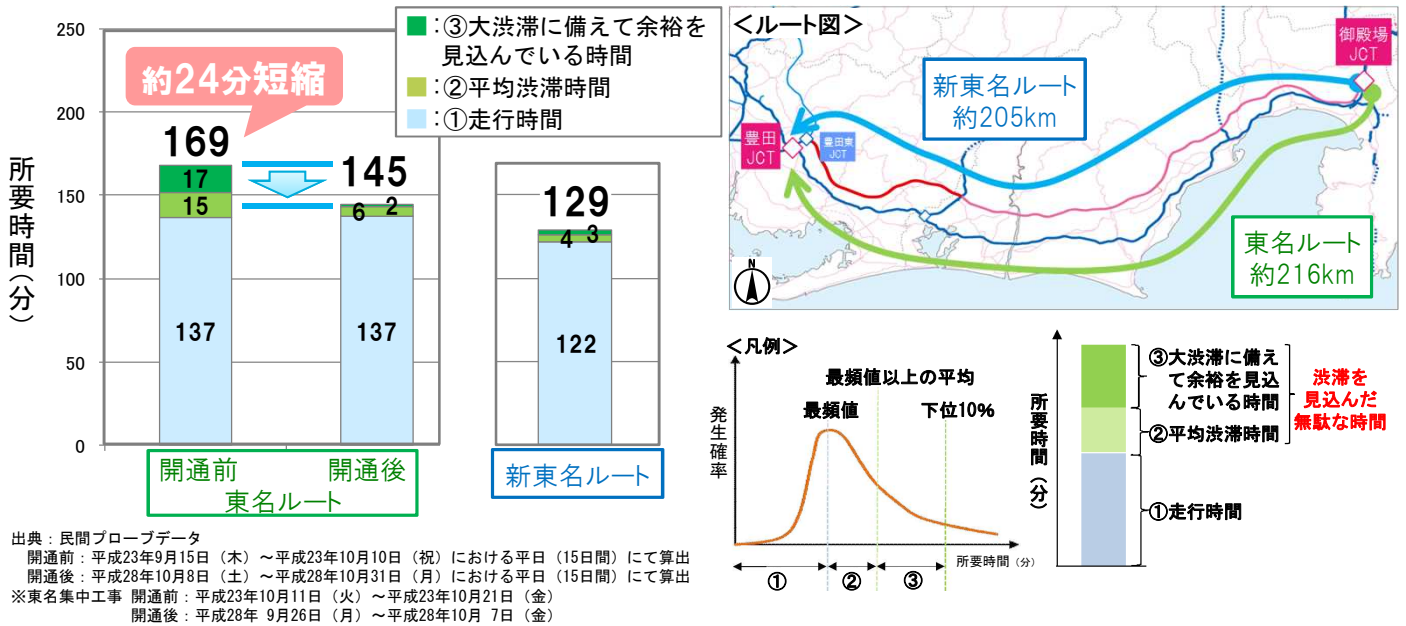


※出典 所要時間:民間プローブデータ(昼間12時間:7時～19時)
 開通前(東名):H23/2/13(日)～H23/11/30日(水)における291日
 開通後(新東名):H28/2/14(日)～H28/11/30日(水)における291日
 ※平日、休日を含む上下平均

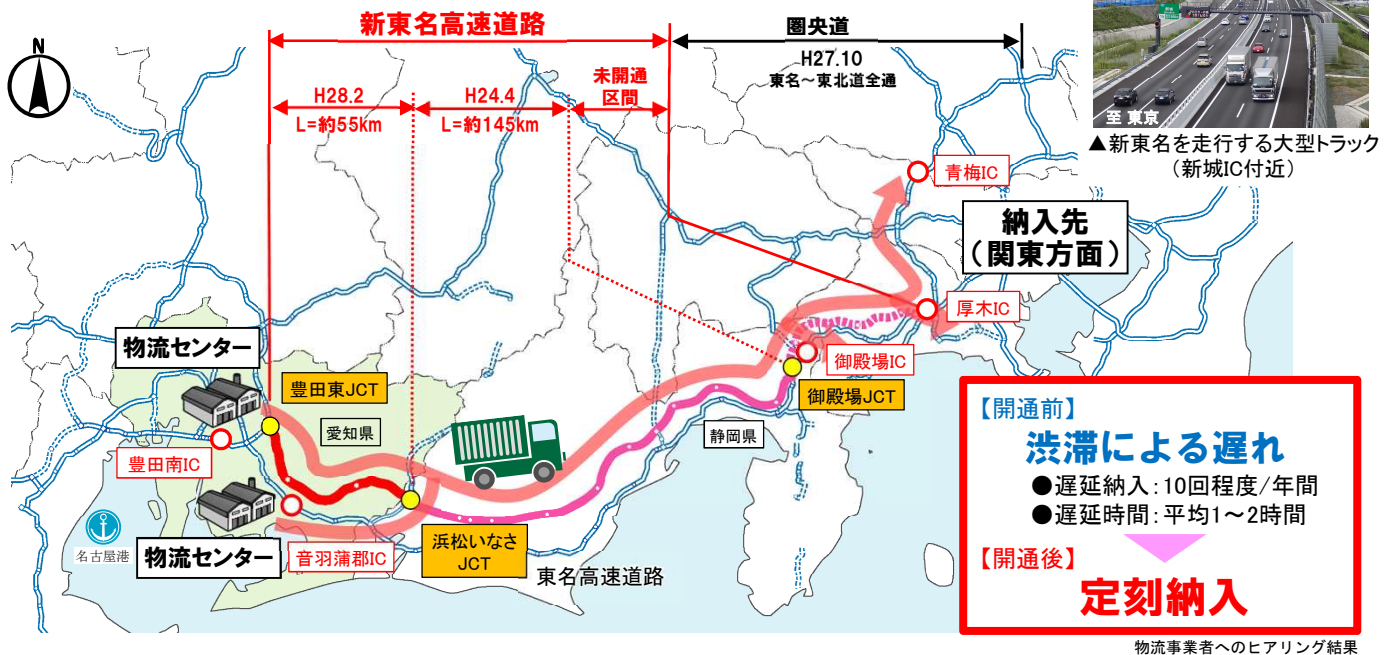
※出典 大型車交通量:中日本高速道路(株) 交通道路利用データ(H27年11月平均日交通量)から算出
 東名および新東名(御殿場JCT～豊田JCT間全線)を走行した1日あたりの平均交通量を年間値に換算し算出

- 東名の所要時間のバラツキが、約24分短縮し、時間信頼性が向上。
- 愛知県から関東方面への自動車部品輸送においては、定時性の向上により、これまでの東名の渋滞による想定外の遅れ（平均1～2時間）が改善との声あり。
- 渋滞を見越したドライバーの早出出勤が削減され、労働環境が改善。

■東名(下り方向:御殿場JCTから豊田JCT)の時間信頼性が向上



■新東名高速・圏央道の開通による自動車部品輸送の定時性向上



- 渋滞が緩和され時間が予測できるようになったため、より確実な輸送が可能となりました。
- 渋滞などを見越した早出出勤(約15回程度/年)が減り、ドライバーの負担が軽減しました。
- 御殿場JCTから関東方面への新東名未開通区間の整備を期待しています。(物流事業者)

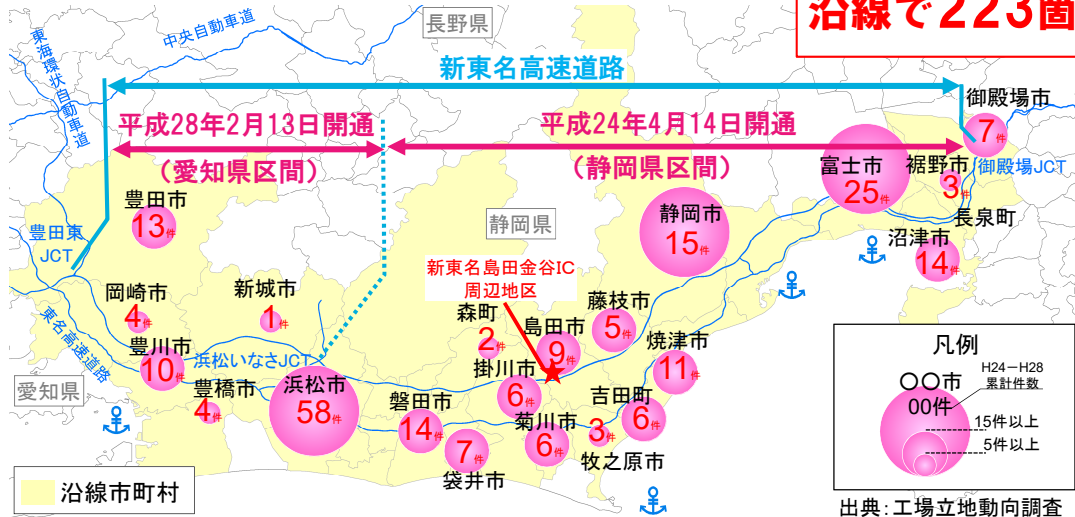


出典：ヒアリング調査(岡崎市)

- 新東名沿線の内陸部では、工業用地の開発・分譲により、新たな立地が進展。
- 東名沿線は渋滞緩和を見込み、新たな立地が進展。
- 沿線市町では、従業員数が増加するなど、地域産業の活性化に寄与。

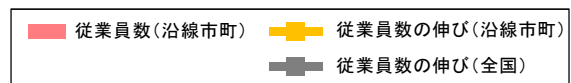
■ 新東名・東名沿線に新たに立地した工場 (H24.1~H28.6の累計)

沿線で223箇所*立地



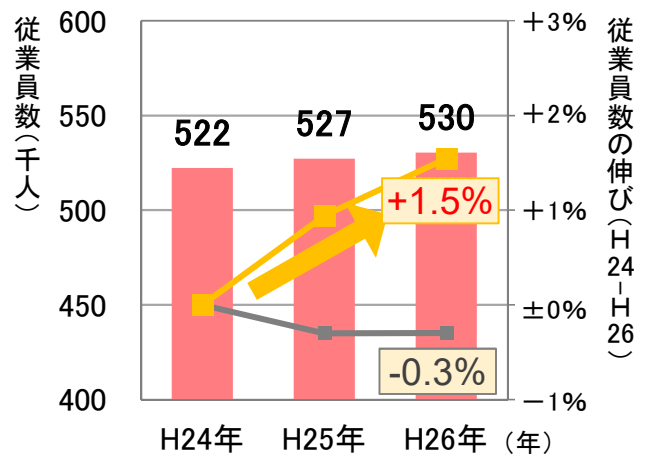
(※うち92箇所は移転立地)

■ 沿線市町の製造業従業員数の推移



出典：島田市提供

▲ 新東名島田金谷IC周辺地区



出典：工業統計調査

■ 沿線市の声

- 平成24年以降、市内へ9社*が立地。
- 更なる地域活性化を図るため、新東名島田金谷IC周辺に工業用地を造成し企業誘致を進めている。

(※うち2箇所は移転立地)

出典：ヒアリング調査 (国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所)



■ 沿線立地事業者の声

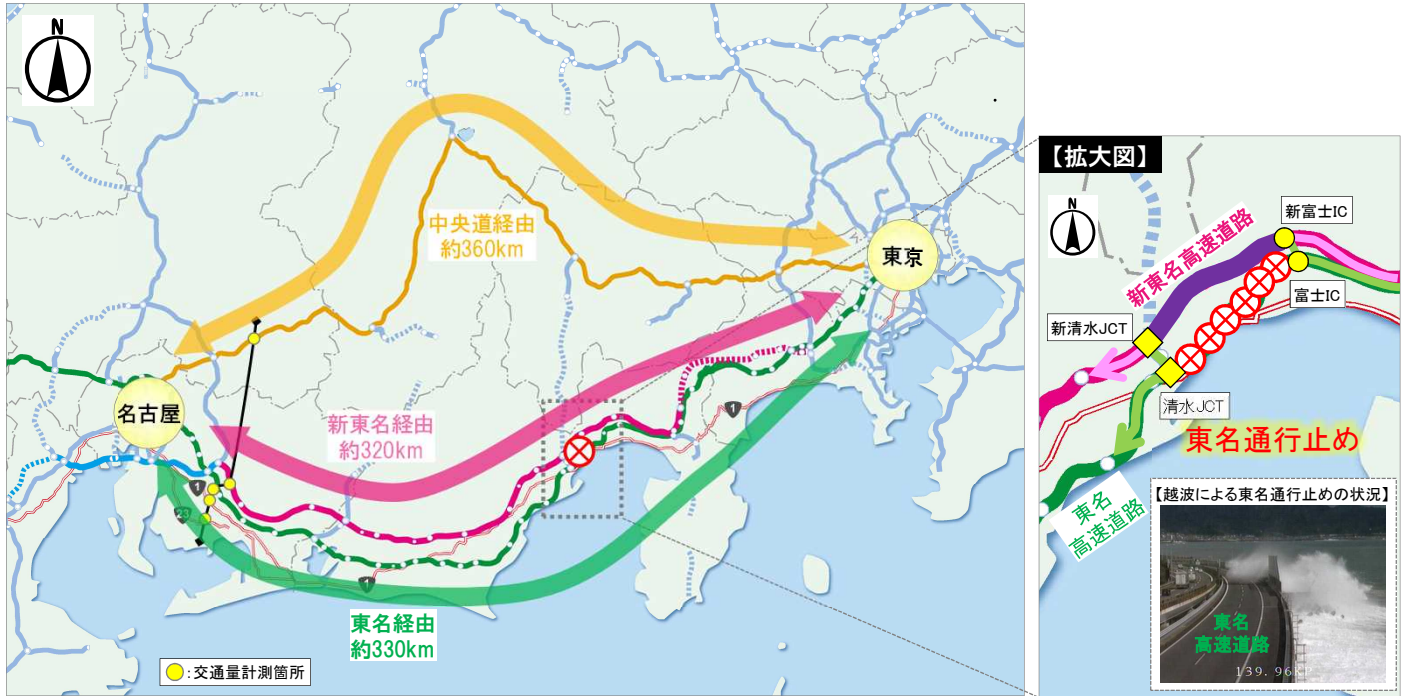
- 東名の渋滞緩和に期待し、東名高速道路IC近くに、新たに進出した。
- 開通後、並行する東名の渋滞が解消され、配送計画が立てやすくなった。

出典：ヒアリング調査 (国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所)



- 東名での通行止め発生時、新東名の交通量が約2倍に増加、迂回路としての機能を発揮。
- 東名集中工事時において、全体交通への影響が軽減（開通前 2割減⇒開通後 1割減）したことに加え、一般道、中央道（広域迂回）の分担が減少し、新東名が分担。

■リダンダンシーの確保

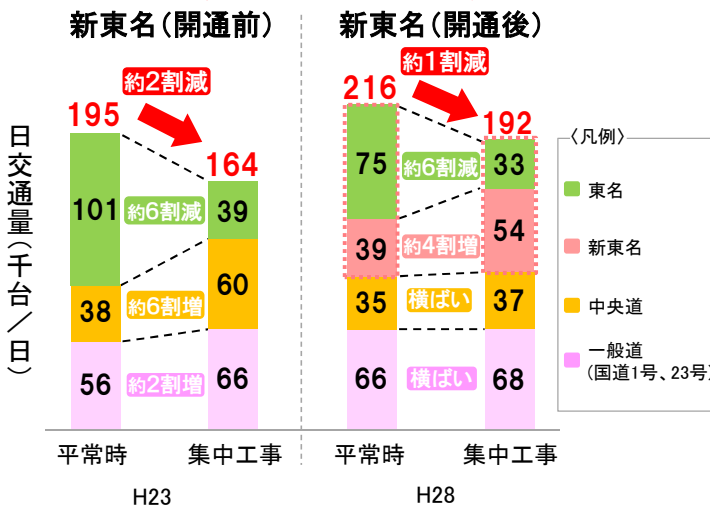


■東名集中工事時の交通状況

- 【東名集中工事の概要】
- ・平成23年：東京IC～豊田IC(10月11日(火)～10月21日(金) 平日)
 - ・平成28年：東京IC～春日井IC(9月26日(月)～10月7日(金) 平日)

東名の交通を
中央道・一般道で分担

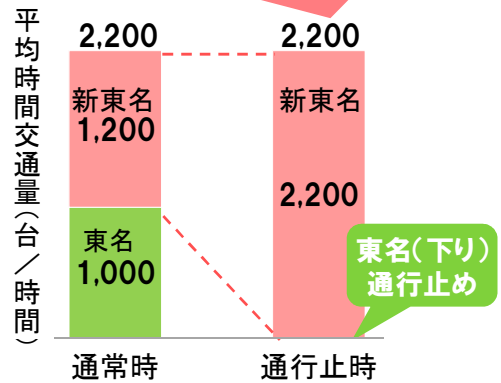
東名の交通を
新東名が分担



■越波による東名通行止め時の迂回状況 (下り:H28/8/29 11時台～17時台)

- 【通行止めの概要】
- ・区間：東名高速 富士IC～清水JCT(下り:名古屋方面)
 - ・期間：平成28年8月29日(月)10:30～17:50頃
 - ・要因：台風10号に伴う高波

東名の交通を新東名が分担し
迂回機能を発揮
(新東名で渋滞発生せず)

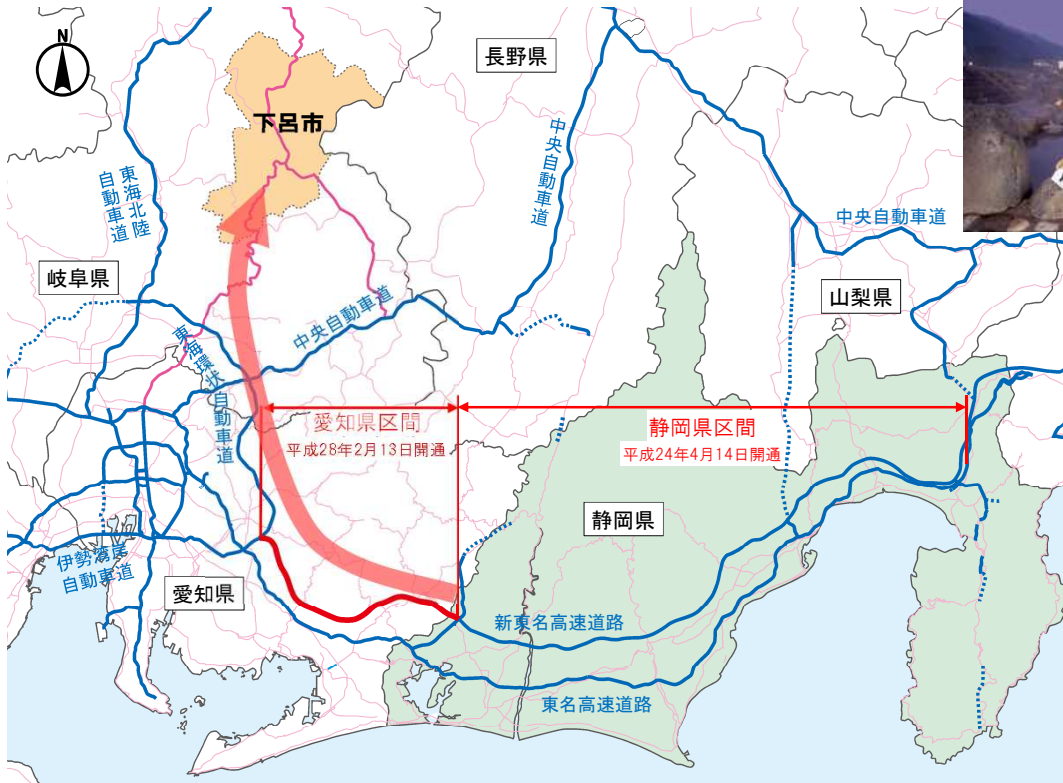


出典：交通量
 ・新東名、東名：車両感知器による速報値(中日本高速道路(株)資料)
 ・国道1号、国道23号：車両感知器による速報値(国土交通省中部地方整備局資料)
 [平成23年] 通常時：平成23年10月5日(水)、集中工事：平成23年10月12日(水)
 [平成28年] 通常時：平成28年9月14日(水)、集中工事：平成28年10月5日(水)

出典：車両感知器による速報値(中日本高速道路(株)資料)
 東名：富士IC～新清水JCT(下り)
 新東名：新富士IC～新清水JCT(下り)
 通常時：平成28年8月22日(月)(通行止め前週同曜日)
 通行止め時：平成28年8月29日(月)

- 岐阜県下呂市の下呂温泉観光協会では、プロモーション活動時に新東名開通をPR。
- 下呂市への静岡県からの宿泊者数は、愛知県区間開通後に前年比約5割増加。

■新東名を利用した広域観光(下呂市)

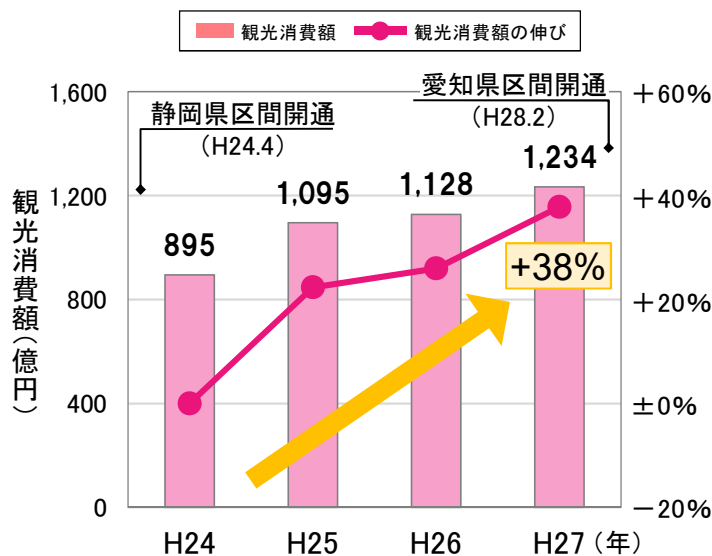


旅行会社向け
専用プロモーション冊子



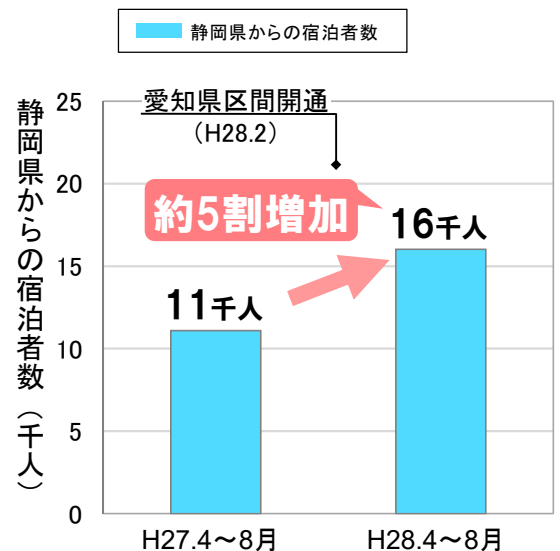
出典: 下呂温泉観光協会提供資料

■観光消費額の伸び(飛騨圏域*)



出典: 岐阜県 観光入込客統計調査
*飛騨圏域: 下呂市、高山市、飛騨市、白川村

■下呂温泉の宿泊者数の伸び



出典: 下呂市 観光課提供資料より作成

○新東名は重要なアクセスルートで、開通前から旅行者へセールスプロモーションを実施した。
(下呂温泉観光協会)



新東名高速道路 開通区間の概要

■新東名高速道路は、神奈川県と愛知県を結ぶ総延長約250kmの高速自動車国道です。
平成28年2月13日の延長約55kmの開通により、
御殿場JCT～豊田東JCT間、約200km（連絡路除く）が開通しています。

【開通区間の概要】

道路名：新東名高速道路（第二東海自動車道）

開通区間：浜松いなさJCT（静岡県浜松市北区引佐町東黒田）

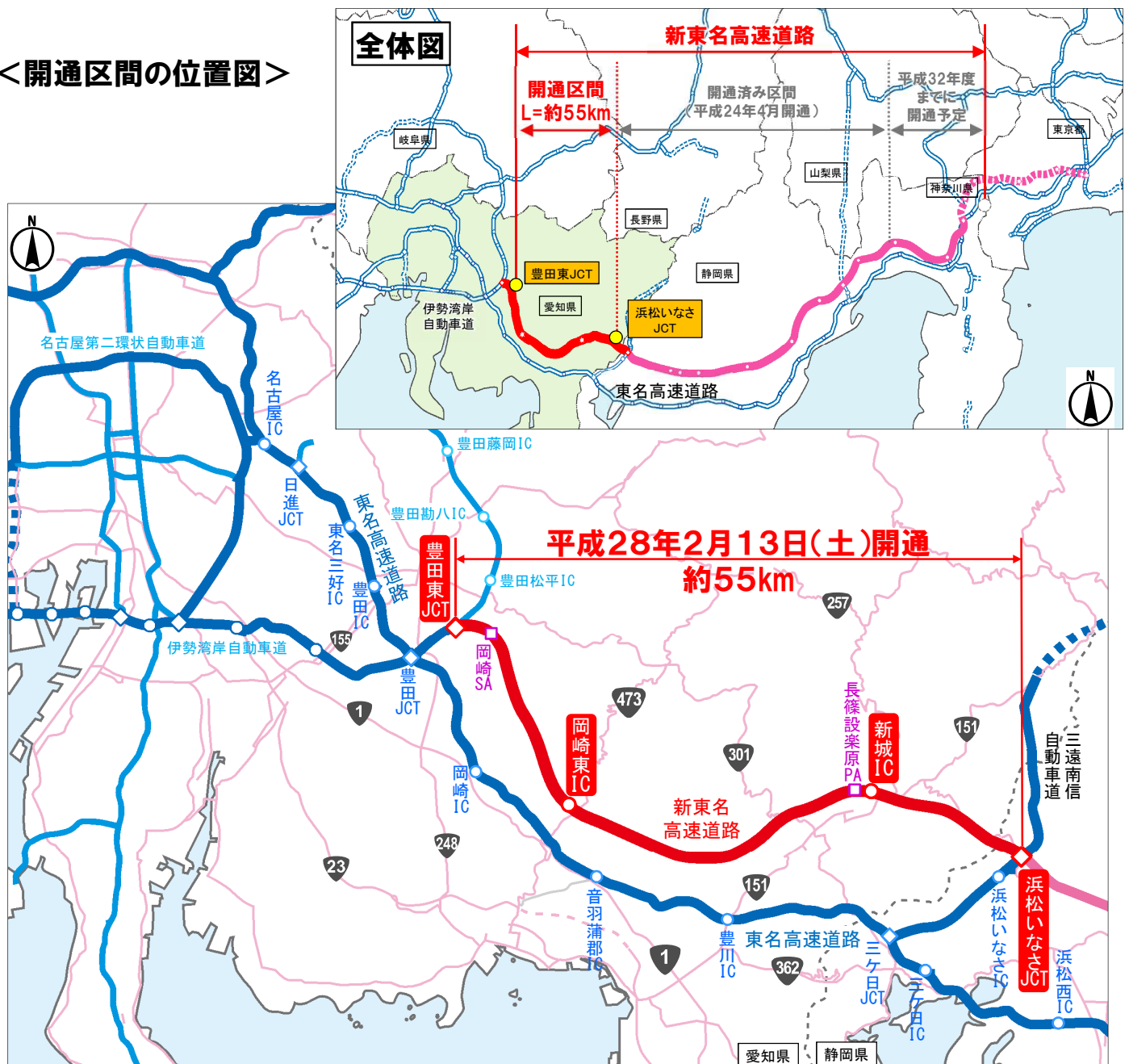
～ 豊田東JCT（愛知県豊田市岩倉町字山ノ神）

開通日時：平成28年2月13日（土）15時

延長：55.2km

車線数：6車線／4車線（暫定施工時）

<開通区間の位置図>



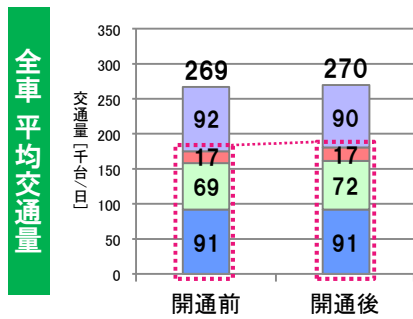
ニホンつながる 新東名 開通後の交通状況（交通量）

- 新東名高速道路（浜松いなさJCT～豊田東JCT間）は1日あたり約42,000台が利用しています。
- 静岡断面(C)では、新東名高速道路における大型車交通の断面分担率が増加しました。

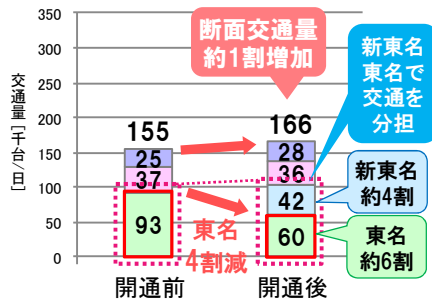
■ 周辺高速道路の断面交通量の変化



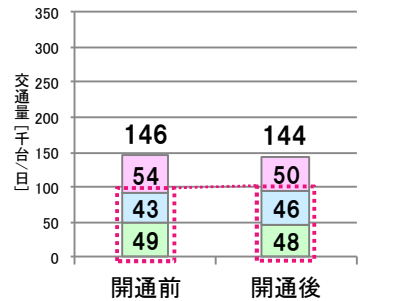
①名古屋断面(A)



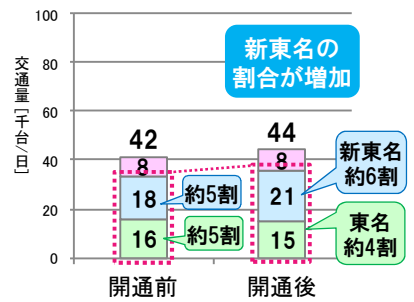
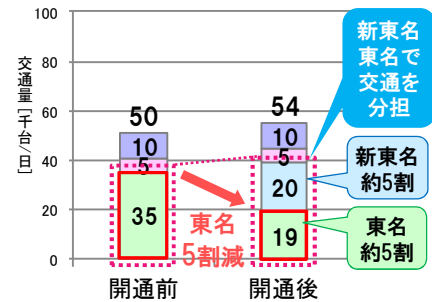
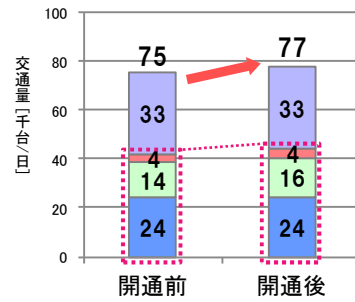
②開通区間(B)



③静岡断面(C)



大型車平均交通量



■ 伊勢湾岸 ■ 東名 ■ 東海環状 ■ 国道23号

※・新東名高速道路（浜松いなさJCT～豊田東JCT間）の平均交通量
 ・東名高速道路（三ヶ日JCT～豊田JCT間）の平均交通量

出典：交通量 ・新東名高速道路、東名高速道路、伊勢湾岸自動車道、東海環状自動車道：車両感知器による速報値の平均交通量（中日本高速道路（株）資料）
 ・国道1号、国道23号：車両感知器による速報値（国土交通省中部地方整備局資料）
 開通前（平成27年12月1日（火）～12月31日（木））、開通後（平成28年12月1日（木）～12月31日（土））の平日別日平均交通量
 ※ 東名について、平成28年9月26日（月）～10月7日（金）の平日に集中工事を実施。音羽蒲郡IC～豊田JCT間の3車線運用は、平成28年10月8日（土）から2車線に戻る。
 ※ 国道23号について、国道23号岡崎バイパス（西尾東IC～藤井IC）延長4kmの4車線化が平成28年2月26日に完成

新東名・東名高速道路の開通後の交通状況

■新東名高速道路（浜松いなさJCT～豊田東JCT間）の開通後の12月の平均交通量は、約42,000台/日（平日：約42,700台/日、休日：約40,600台/日）でした。

新東名高速道路	開通前			開通後			増減率			
	全日	平日	休日	全日	平日	休日	全日	平日	休日	
御殿場JCT～長泉沼津IC	43,500	43,400	43,700	50,900	51,400	50,100	17%	18%	15%	
長泉沼津IC～新富士IC	48,300	48,500	47,900	55,000	55,300	54,400	14%	14%	14%	
新富士IC～新清水IC	47,400	47,800	46,400	52,800	53,500	51,300	11%	12%	11%	
新清水IC～新清水JCT	47,000	47,200	46,400	51,200	51,600	50,500	9%	9%	9%	
新清水JCT～新静岡IC	43,000	43,400	42,100	47,500	48,200	46,200	10%	11%	10%	
新静岡IC～静岡SASマ-IC	41,400	41,700	40,500	47,000	47,500	45,800	13%	14%	13%	
静岡SASマ-IC～藤枝岡部IC	42,500	43,000	41,300	46,400	47,000	45,100	9%	9%	9%	
藤枝岡部IC～島田金谷IC	40,900	41,700	39,100	47,200	47,800	45,800	15%	15%	17%	
島田金谷IC～森掛川IC	40,100	40,300	39,700	46,300	46,700	45,500	15%	16%	15%	
森掛川IC～浜松浜北IC	39,300	39,600	38,800	46,300	46,700	45,500	18%	18%	17%	
浜松浜北IC～浜松SASマ-IC	44,300	45,300	41,800	53,300	54,200	51,300	20%	20%	23%	
浜松SASマ-IC～浜松いなさJCT	39,500	40,000	38,300	49,500	49,800	49,000	25%	24%	28%	
浜松いなさJCT～新城IC 【平成28年2月13日(土)開通】	-	-	-	40,800	41,400	39,500	-	-	-	
新城IC～岡崎東IC 【平成28年2月13日(土)開通】	-	-	-	41,800	42,400	40,500	-	-	-	
岡崎東IC～豊田東JCT 【平成28年2月13日(土)開通】	-	-	-	43,400	44,200	41,600	-	-	-	
引佐連絡路 (新東名-東名 連絡路:浜松市)	浜松いなさJCT～ 浜松いなさIC	45,600	46,500	43,500	10,000	9,700	10,700	-78%	-79%	-75%
	浜松いなさIC～ 三ヶ日JCT	43,000	43,500	41,900	9,800	9,500	10,500	-77%	-78%	-75%
清水連絡路 (新東名-東名 連絡路:静岡市)	清水JCT～ 清水いはらIC	8,900	8,900	8,900	9,500	9,400	9,600	6%	6%	7%
	清水いはらIC～ 新清水JCT	8,900	8,900	9,000	9,800	9,800	9,900	10%	10%	11%

東名高速道路	開通前			開通後			増減率		
	全日	平日	休日	全日	平日	休日	全日	平日	休日
三ヶ日JCT～豊川IC	76,900	77,300	75,900	42,900	43,100	42,500	-44%	-44%	-44%
豊川IC～音羽蒲郡IC	86,700	87,800	84,000	52,900	54,200	50,200	-39%	-38%	-40%
音羽蒲郡IC～岡崎IC	100,400	101,500	97,700	66,900	68,300	64,000	-33%	-33%	-35%
岡崎IC～豊田JCT	111,000	112,700	106,800	80,900	83,500	75,400	-27%	-26%	-29%

出典：交通量 ・新東名高速道路、東名高速道路：車両感知器による速報値の平均交通量（中日本高速道路（株）資料）

※ 東名について、平成28年9月26日（月）～10月7日（金）の平日に集中工事を実施。音羽蒲郡IC～豊田JCT間の3車線運用は、平成28年10月8日（土）から2車線に戻る。開通前（平成27年12月1日（火）～12月31日（木））、開通後（平成28年12月1日（木）～12月31日（土））の平休別日平均交通量